

令和7年度

鹿児島県立楠隼高等学校
入学者選抜実施要綱

鹿児島県教育委員会

目 次

〔1〕 募集定員及び出願資格	1
1 募集定員	1
2 出願資格	1
〔2〕 出願	1
1 出願期間	1
2 出願手続	1
3 入学願書の受付	2
〔3〕 選抜	2
1 方針	2
2 方法	2
3 選抜内容	3
4 選抜結果の通知及び発表等	4
5 調査書	4
6 その他	5
〔4〕 その他	5

※ 各種様式については、氏名を自署とし、押印は求めないこととしています。

なお、校長、教育長などの証明、所見、確認等に関する欄の職印の押印も省略して差し支えありません（各団体の文書規程等に拠ってください。）。

令和7年度鹿児島県立楠隼高等学校入学者選抜の主な日程

内 容	月 日 (曜日)	備 考
願書受付	令和7年1月10日(金) から 令和7年1月17日(金) まで	◎郵送のみの受付(簡易書留, 当日消印有効)
選抜実施	令和7年2月4日(火)	◎検査会場 【本校会場】 鹿児島県立楠隼高等学校 【鹿児島会場】 鹿児島県青少年会館
選抜結果発表	令和7年2月7日(金) 午前10時以後	◎入学者選抜結果通知方法 ・レタックスによる選抜結果通知書の発送 ・楠隼高等学校のホームページで合格者の受検番号を発表

〔1〕募集定員及び出願資格

1 募集定員

90人(ただし、楠隼中学校からの入学者(60人以内)を含む。楠隼中学校からの入学予定者数については、12月下旬に県教育委員会ホームページ等で公表する。)

2 出願資格

出願資格は、次のいずれかに該当する男子とする。

- (1) 令和7年3月に中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の中学部(以下「中学校等」という。)を卒業し、又は修了(以下「卒業」と総称する。)する見込みの者
- (2) 中学校等を卒業した者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第95条に該当する者

〔2〕出願

1 出願期間

令和7年1月10日(金)から1月17日(金)まで(当日消印有効)

2 出願手続

- (1) 楠隼高等学校への入学志願者は、楠隼高等学校が作成する**入学願書**を郵送(簡易書留)にて、楠隼高等学校長に提出するものとする。
- (2) 入学願書には、入学検定料として、入学願書の右上肩に2,200円分の鹿児島県の収入証紙を貼付するものとする。ただし、県外からの入学志願者については、入学検定料は楠隼高等学校が指定する方法で納入するものとする。
- (3) 入学志願者は、(1)の入学願書を提出する際は、**調査書**及びその他楠隼高等学校長が指定する書類等を併せて提出するものとする。

なお、調査書については、入学志願者の依頼を受けて、出身中学校が、令和7年度楠隼高等学校入学者選抜実施要綱及び楠隼高等学校が作成した募集要項に示された様式により作成し、厳封(緘印を押印すること。)したものを提出するものとする。

(4) 特別な理由等により年間の欠席日数が 30 日以上の入学志願者は、**自己申告書**（様式 20）を楠隼高等学校長に提出することができる。

※ 自己申告書は、入学志願者及びその保護者が記入し、封をして封筒の表に中学校等名及び本人の氏名を記入して提出すること。

(5) 入学志願者又はその保護者（親権者又は後見人をいう。以下同じ。）は、身体的障害等のため受検上何らかの措置を必要とする場合は、入学願書等の提出に併せてその旨を楠隼高等学校長に申し出るものとする。

(6) 楠隼高等学校入学者選抜に出願した者は、鹿児島県公立高等学校入学者選抜のうち、推薦入学者選抜、帰国生徒等特別選抜、単位制における全日制課程の選抜（第 1 回）、単位制における定時制課程の選抜（第 1 回）、連携型中高一貫教育に係る選抜に出願できないものとする。

(7) 楠隼高等学校長は、入学者選抜出願者数を別途指示する方法で県教育庁高校教育課長に報告するものとする。

3 入学願書の受付

(1) 楠隼高等学校長は、2(1)の入学願書の提出があった場合は、入学願書の記載事項について、誤記や記載漏れ等がないかを確認した上で、入学願書の受付を行うものとする。

(2) 楠隼高等学校長は、入学願書を受け付けた場合は、受検票を入学志願者に交付するものとする。

(3) 楠隼高等学校長は、受け付けた入学願書に不正を発見した場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことができる。

[3] 選抜

1 方針

選抜は、楠隼高等学校の求める生徒像に照らし、その教育を受けるに足る能力・適性等を慎重に判定して行い、その理由が説明されることが適切であることに十分留意すること。

2 方法

楠隼高等学校長は、入学者を次の方法で選抜する。

(1) 選抜の公正を期するため、あらかじめ自身を委員長とする選抜委員会を構成して選抜する。

(2) 選抜は、国語、数学及び英語の 3 教科について行う学力検査、面接、調査書その他提出された書類等を総合して行う。なお、調査書を活用するに当たっては、中学校等の臨時休業や分散登校、出席停止等の影響で、特定の入学志願者が学習評価の内容等の記載により、また指導上参考となる諸事項等の記載が少ないことをもって、不利益を被ることがないようにすること。

(3) 入学志願者又はその保護者から身体的障害等のため受検上何らかの措置を必要とすることについて申出があった場合、楠隼高等学校長は、受検者の人権に十分配慮し、学力検査の実施の際に当該受検者の障害等の程度に応じて、別室での受検、検査室の座席、補聴器等の使用など適切な措置を講ずること。

(4) 検査会場等における感染症対策については、換気の確保や手洗い等の手指衛生の励行等の感染症の特徴に応じた対策を、それぞれの地域や検査会場、検査方法に見合った形で講ずること。なお、監督者や面接官等の業務に携わる者については、基本的な感染症対策を心がけるとともに、実施当日に体調不良とならないよう、体調管理に努めること。

(5) 楠隼高等学校入学者選抜の合格者数が募集定員に満たない場合は、鹿児島県公立高等学校入学者選抜第一次入学者選抜（一般入学者選抜）及び第二次入学者選抜を実施する。当該選抜の実施の有無、募集定員については、県教育委員会ホームページ等で公表する。

3 選抜内容

(1) 学力検査

ア 出題の方針

学力検査問題は、中学校の教育課程に基づく学習の成果として、思考力・判断力・表現力や課題解決的な学習の成果等をみるものとする。

イ 実施方法

学力検査は、次のとおり行う。

(ア) 教科 国語，数学，英語

(イ) 期日・日程 令和7年2月4日（火） 10：00 集合

10：00～10：10 （10分間） 点呼・日程説明

10：30～11：00 （30分間） 国語

11：15～11：45 （30分間） 数学

12：00～12：30 （30分間） 英語（聞き取りテストを含む。）

(ウ) 検査場 楠隼高等学校及び鹿児島市の検査場

(エ) 配点 各教科それぞれ60点満点 合計180点満点

ウ 受検上の注意事項

(ア) 問題用紙等が配布されていることを確認すること。

(イ) 受検番号は、検査問題及び解答用紙の両方に記入すること。

(ウ) 印刷不鮮明などについて質問がある場合は、無言で手を挙げること。

(エ) 番号や記号で解答するようになっているものは、必ず指定の方法で解答すること。

(オ) 数を限定して解答を求められている場合、指定された数より多く解答したものは、減点されることがあるため、注意すること。

(カ) 検査中は、声を出さないこと。

(キ) 不正行為は絶対に行わないこと。

(ク) 遅刻した者は、直ちに楠隼高等学校長に届け出て指示を受けること。

(ケ) 検査場に携行できる用具は、次のとおりとし、それ以外は持ち込まないこと。

鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、鉛筆けずり、三角定規、直定規及びコンパス

※ 分度器、分度器付きの三角定規、計算機、翻訳機、計算機又は翻訳機付きの時計等、検査上公正を欠くと判断される用具の使用は認めない。

(コ) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末等は絶対に検査場へ持ち込まないこと。また、アラーム付きの時計を携行する者は、アラームが鳴らないようにしておくこと。

(サ) このほか楠隼高等学校の「受検上の注意事項」によく注意すること。

(2) 面接

ア 実施計画等

(ア) 楠隼高等学校長は、面接の具体的な実施計画を定め、面接の公正・円滑な実施を期さなければならない。

(イ) 質問事項、評価項目及び方法等については、楠隼高等学校で定める面接の方針に沿って、十分検討して決定するものとする。

(ウ) 面接の実施に当たっては、入学志願者の人権に十分配慮しなければならない。

(㉔) 面接の結果は、選抜の一資料として用いることができるものとする。

イ 実施方法

面接は、次により行うものとする。

(㉕) 対 象：入学志願者全員

(㉖) 期 日：令和7年2月4日（火）学力検査終了後

(㉗) 方 法：個人面接又は集団面接

4 選抜結果の通知及び発表等

(1) 楠隼高等学校長は、入学者選抜の結果について、令和7年2月7日（金）午前10時以後、翌日の午前10時までの間、楠隼高等学校のホームページにて合格者を受検番号で発表する。

(2) 楠隼高等学校長は、入学者選抜の結果について、別途指示する方法で県教育庁高校教育課長に報告するものとする。

(3) (1)の結果通知で合格だった者（以下「合格者」という。）の手続きは次のとおりとする。

ア 合格者は、入学する場合は**入学申出書**に、入学を辞退する場合（他の高等学校の入学手続きをしようとする場合を含む。）は**入学辞退届**に必要事項を記入し、令和7年2月10日（月）午後5時までに、楠隼高等学校へFAX(0994-65-1113)で送信する。

イ 楠隼高等学校はFAXの受理後、FAXを受理した旨を、合格者へ電話で連絡する。

ウ 合格者は、速やかに入学申出書又は入学辞退届の原本を楠隼高等学校長宛て郵送（速達簡易書留）で提出する（令和7年2月14日（金）正午（必着）まで。）。

(4) 入学申出書を提出した者については、楠隼高等学校長が、出身中学校長に入学予定者通知書を送付するものとし、他の高等学校の受検又は手続はできないものとする。

5 調査書

〔2〕2(3)に規定する調査書については様式4-1を用い、次の注意事項及び作成方法により作成するものとする。なお、令和3年3月以前の既卒者は様式4-2を用いるものとする。

(1) 全般的事項

ア 出身中学校長は、自身を委員長とする作成委員会を構成し、公正を期して、調査書を作成するものとする。

イ 調査書の内容は、令和6年12月31日現在で作成する。ただし、証明欄の期日は記載日とする。

ウ 調査書作成に当たっては、中学校生徒指導要録（以下「指導要録」という。）を基にして記入する。

エ 過年度卒業者の調査書作成に当たっては、指導要録に記載してある記録を記入する。ただし、旧指導要録に該当欄のないものは、記入不要とする。また、旧指導要録と区分が異なるときは、区分を訂正して記入するものとする。

なお、過年度卒業者の調査書は、第3学年の「学習の記録」の評定を朱書きで記入する。

オ 高等学校退学者の調査書作成は出身中学校で行い、旧在籍高等学校の在学中の記録を添付する。

なお、旧在籍高等学校在学中の記録は旧在籍高等学校で作成し、出身中学校長に送付することとし、その内容は退学年月日、退学理由、在学中の出席状況、行動及び学習の記録等とする。

カ やむを得ない事情によって、所定の調査書を提出できない者がいる場合、その理由を付して、調査書に代わる資料を提出することとする。

キ 作成した調査書は、楠隼高等学校が指定する封筒に入れ、厳封（緘印を押印する。）した上で出願者に交付する。

(2) 作成方法

㊤ 学習の記録

ア 「観点別学習状況」欄

別表1-1の(1)から(3)（別表1-2の(1)から(4)（国語にあつては(1)から(5)））について、第3学年における各教科の目標の観点ごとの実現の状況を判断の上、次の評価基準により記入する。

「A」：「十分満足できる」

「B」：「おおむね満足できる」

「C」：「努力を要する」

イ 「評定」欄

(㊦) 第1学年・第2学年 各教科5段階とし、指導要録に記載してあるものを記入する。

(㊧) 第3学年 各教科5段階で記入する。

ウ 「選択教科」欄

指導要録に記載される方法で評定を記入する。

エ 「総合的な学習の時間の記録」欄

指導要録の記載に基づき、学年ごとに学習活動と評価について簡潔な文章で記入する。

㊥ 行動の記録

主に第3学年について、項目ごとに、十分満足できる状況にあると判断される場合には、欄内に○印を記入する。

㊦ 出欠の記録

第1学年・第2学年については、指導要録に記載してあるものを記入し、第3学年については**令和6年12月31日現在**で記入する。

㊧ 総合所見及び指導上参考となる諸事項

指導要録等の記載に基づき、以下のような事項などを記入する。

ア 各教科や「総合的な学習の時間」の学習に関する所見

イ 特別活動に関する事実及び所見

ウ 行動に関する所見

エ 進路指導に関する事項

オ 健康の状況に関して、受検上配慮すべき事項

カ 生徒の特徴・特技、学校内外における奉仕活動、表彰を受けた行為や活動など指導上参考となる諸事項

キ 生徒の成長の状況に関わる総合的な所見

6 その他

ここに定めるもののほか、必要な事項は楠隼高等学校において定めるものとする。

〔4〕 その他

楠隼高等学校長は、入学者選抜において不正を発見した場合は、当該入学志願者の入学を取り消すことができる。

(別表 1 - 1)

各教科の評価の観点

教科	観 点
国 語	(1) 知識・技能
	(2) 思考・判断・表現
	(3) 主体的に学習に取り組む態度
社 会	(1) 知識・技能
	(2) 思考・判断・表現
	(3) 主体的に学習に取り組む態度
数 学	(1) 知識・技能
	(2) 思考・判断・表現
	(3) 主体的に学習に取り組む態度
理 科	(1) 知識・技能
	(2) 思考・判断・表現
	(3) 主体的に学習に取り組む態度
音 楽	(1) 知識・技能
	(2) 思考・判断・表現
	(3) 主体的に学習に取り組む態度
美 術	(1) 知識・技能
	(2) 思考・判断・表現
	(3) 主体的に学習に取り組む態度
保 健 体 育	(1) 知識・技能
	(2) 思考・判断・表現
	(3) 主体的に学習に取り組む態度
技 術 ・ 家 庭	(1) 知識・技能
	(2) 思考・判断・表現
	(3) 主体的に学習に取り組む態度
外 国 語	(1) 知識・技能
	(2) 思考・判断・表現
	(3) 主体的に学習に取り組む態度

(別表 1 - 2)

各教科の評価の観点

教科	観 点
国 語	(1) 国語への関心・意欲・態度
	(2) 話す・聞く能力
	(3) 書く能力
	(4) 読む能力
	(5) 言語についての知識・理解・技能
社 会	(1) 社会的事象への関心・意欲・態度
	(2) 社会的な思考・判断・表現
	(3) 資料活用の技能
	(4) 社会的事象についての知識・理解
数 学	(1) 数学への関心・意欲・態度
	(2) 数学的な見方や考え方
	(3) 数学的な技能
	(4) 数量や図形などについての知識・理解
理 科	(1) 自然事象への関心・意欲・態度
	(2) 科学的な思考・表現
	(3) 観察・実験の技能
	(4) 自然事象についての知識・理解
音 楽	(1) 音楽への関心・意欲・態度
	(2) 音楽表現の創意工夫
	(3) 音楽表現の技能
	(4) 鑑賞の能力
美 術	(1) 美術への関心・意欲・態度
	(2) 発想や構想の能力
	(3) 創造的な技能
	(4) 鑑賞の能力
保 健 体 育	(1) 運動や健康・安全への関心・意欲・態度
	(2) 運動や健康・安全についての思考・判断
	(3) 運動の技能
	(4) 運動や健康・安全についての知識・理解
技 術 ・ 家 庭	(1) 生活や技術への関心・意欲・態度
	(2) 生活を工夫し創造する能力
	(3) 生活の技能
	(4) 生活や技術についての知識・理解
外 国 語	(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度
	(2) 外国語表現の能力
	(3) 外国語理解の能力
	(4) 言語や文化についての知識・理解

(様式4-1)

調 査 書

志願者	ふりがな						性別	※受検番号			
	氏名										
	生年月日	年	月	日	現住所						
①	教科	観点別学習状況			評 定			※換算点	行 動 の 状 況		
		(1)	(2)	(3)	第1学年	第2学年	第3学年				
	学 習 の 記 録	国 語							行 動 の 記 録	基 本 的 な 生 活 習 慣	
		社 会								健 康 ・ 体 力 の 向 上	
		数 学								自 主 ・ 自 律 責 任 感	
		理 科								創 意 工 夫	
		外 国 語								思 い や り ・ 協 力	
		音 楽								生 命 尊 重 ・ 自 然 愛 護	
		美 術								勤 労 ・ 奉 仕	
		保 健 体 育								公 正 ・ 公 平	
技 術 ・ 家 庭								公 共 心 ・ 公 徳 心			
							※合計				
選 択 教 科											
	教科	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 健 体 育	技 術 ・ 家 庭	外 国 語	
記 録	学年										
	第1学年										
	第2学年										
	第3学年										
総合的な学習の時間の記録	第1学年										
	第2学年										
	第3学年										
								③	学年	欠席日数	備 考
								出欠の記録	1		
									2		
									3		
								④	総合所見及び指導上参考となる諸事項		
								この調査書は、事実と相違ないことを証明する。			
								年 月 日			
								中学校名 _____			
								校長氏名 _____			
調査書記載者氏名											

(備考) ※印欄は高等学校で記入する。

[注：日本産業規格A4 (210mm×297mm) 縦型使用]

(様式4-2)

調 査 書

【令和3年3月以前の既卒者用】

志願者	ふりがな						性別						
	氏名						※受験番号						
	生年月日	年	月	日									
年 月 日 卒業					現住所								
① 学 習 の 記 録	教 科	観点別学習状況					評 定			※換算点	② 行 動 の 記 録	行 動 の 状 況	
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	第1学年	第2学年	第3学年			基 本 的 な 生 活 習 慣	
	国 語									健 康 ・ 体 力 の 向 上			
	社 会									自 主 ・ 自 律			
	数 学									責 任 感			
	理 科									創 意 工 夫			
	外 国 語									思 い や り ・ 協 力			
	音 楽									生 命 尊 重 ・ 自 然 愛 護			
	美 術									勤 労 ・ 奉 仕			
	保健体育									公 正 ・ 公 平			
技 術・ 藝 術									公 共 心 ・ 公 徳 心				
						※合計			③	学年	欠席日数	備 考	
						選 択 教 科				出欠の記録	1		
	教科	国	社	数	理	音	美	保	技	外	2		
	学年	語	会	学	科	楽	術	健	術・家庭	国	3		
	第1学年										④ 総合所見及び指導上参考となる諸事項		
	第2学年												
	第3学年												
	第1学年												
	第2学年												
	第3学年												
総合的な学習の時間の記録										この調査書は、事実と相違ないことを証明する。			
										年 月 日			
調査書記載者氏名										中学校名 _____			
										校長氏名 _____			

(備考) ※印欄は高等学校で記入する。

[注：日本産業規格A4 (210mm×297mm) 縦型使用]

(様式20)

自 己 申 告 書

年 月 日

_____ 高等学校長 殿

中 学 校 名 _____

志 願 者 氏 名 _____

保 護 者 氏 名 _____

貴校への志願に当たり、下記のとおり申告します。

記

志願者記入欄

志願の動機・理由，長所や優れた活動，高校生活への抱負など

保護者記入欄

高等学校に理解してほしいことがら

(注) この申告書は，封筒の表に中学校等名，氏名を記入し，封をして提出すること。

[注：日本産業規格A4（210mm×297mm）縦型使用]